

第24回 林蔵クイズ

「樺太」豆知識 その2

① 樺太島の歴史

樺太島には主に先住民（樺太アイヌ・ニヴフ族など）が居住していました。長い間、中国やロシア、日本との関わりはありましたが、19世紀初めまでははっきりとした国の支配などはありませんでした。

1855年、日本とロシアは日露通好条約において当時自然に成立していた択捉島とウルップ島の間を国境と決めました。しかし、樺太島について国境の取り決めはありませんでしたので、争いが絶えませんでした。そのころロシアは樺太島開発に力を入れていましたので、樺太島をロシアの領土とするかわりに千島のウルップ島からシュムシュ島までを日本の領土とする条約を1875年に結びました。これが「樺太千島交換条約」です。

1905年（明治38年）、日露戦争後の講和条約により、樺太島の北緯50度から南は日本の領土になりましたが、1945年（昭和20年）第二次世界大戦後、またロシアによって実効支配されています。

② 樺太島の先住民

南樺太の先住民は「樺太アイヌ」と呼ばれ、北海道アイヌや千島アイヌとは異なる文化・伝統をもっていました。トンコリ（五弦の琴）やミイラ葬などがそれです。第二次世界大戦後、ロシアの南樺太占領によって大多数の樺太アイヌは南樺太を離れ、北海道各所に散在しています。

クイズ1 1875年に日本とロシアが結んだ条約はどれでしょうか。

①日露通好条約 ②樺太千島交換条約 ③ポーツマス条約

クイズ2 南樺太の先住民はどれでしょうか。

①インディアン ②樺太アイヌ ③マサイ族

クイズ正解者のうち、抽選により、5人に図書券を進呈します。

[応募方法] はがき、メールまたは下記のQRコードで、答え、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、〒300-2395 つくばみらい市福田195 つくばみらい市生涯学習課内間宮林蔵顕彰会「林蔵クイズ」係まで [応募締切] 令和4年3月25日(金)

★ 林蔵クイズは「あさのいち」に参加しています！



図 教育委員会生涯学習課内 間宮林蔵顕彰会
林蔵クイズ係 ☎ 58 - 2111 (内線 7301)
✉ bunka01@city.tsukubamirai.lg.jp



第23回の答え クイズ1：①吊るした新巻鮭 クイズ2：③北緯50度



第10回わが街ウォーキング 参加者募集

大空の下、のんびり季節を味わいながら自分のペースでつくばみらい市の何処か、往復3キロ弱の道程を歩いてみませんか？

▶日程：4月6日(水) ※雨天中止
▶受付時間：午前9時30分～10時
▶今回のコース：絹の台方面
▶集合場所：ホームックつくばみらい店 駐車場

▶持ち物：マスク着用、飲み物、タオル、動きやすい服装、履きなれた靴

▶募集人数：15組

▶主催：傾聴ボランティアほほえみ

※次回は5月開催予定

▶申込先：下記問い合わせ先まで

図 社会福祉協議会ボランティア市民活動センター ☎ 0297 - 25 - 2101



スクエアダンス 初心者講習会

▶日時：4月2日(土)～7月2日(土)
午後5時～6時30分
月3回（第1土曜日～第3土曜日）全10回
▶会場：取手市相馬公民館
(取手市榎木2423)
▶参加費：無料
▶募集人数：10人

詳細はこちら



(小学生からシニアまで楽しめます)
▶主催：藤代スクエアダンスクラブ
http://www.7a.biglobe.ne.jp/~fujishiro-rs/
▶申込先：以下の問い合わせ先までご連絡ください。

※メールでのお申し込みの場合は、住所・氏名・連絡先を明記してください。

図 藤代スクエアダンスクラブ 会長
井上 ☎ 090 - 8809 - 8204
✉ chuusan@mtj.biglobe.ne.jp



宝くじの助成金で エアコンなどを整備

(一財)自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業の一環として行うコミュニティ助成事業のうち、一般コミュニティ助成事業の採択を受け、関場藤柄自治会の営農研修センターに、エアコンや冷蔵庫、ロッカーなどが整備されました。一般コミュニティ助成事業とは、住民が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図り、地域の連帯感に基づく自治意識を盛り上げることを目指すもので、コミュニティ活動に直接必要な設備などの整備に関する事業です。

図 伊奈庁舎
地域推進課
(内線 1302)

